

株式会社 西部技研

本社・営業部
福岡県古賀市青柳3108-3/〒811-3134
PHONE: 092-942-5711
F A X: 092-944-6811
E-mail: sales@seibu-giken.co.jp

湘南事業所
神奈川県高座郡寒川町田端1718/〒253-0114
PHONE: 0467-73-9311
F A X: 0467-73-9322

東京支社
東京都中央区東日本橋2-24-14
日本橋イーストビル4F/〒103-0004
PHONE: 03-3866-3066
F A X: 03-3866-3077
E-mail: tokyo@seibu-giken.co.jp

大阪支店
大阪府大阪市淀川区宮原4-3-12
新大阪明幸ビル2F/〒532-0003
PHONE: 06-4807-8611
F A X: 06-4807-8622
E-mail: osaka@seibu-giken.co.jp

名古屋支店
愛知県名古屋市名東区一社3-80
〒465-0093
PHONE: 052-709-3051
F A X: 052-709-3052
E-mail: nagoya@seibu-giken.co.jp

関東技術サービスセンター
埼玉県川口市東川口3-7-33-8号室
〒333-0801
PHONE: 050-3775-5550
F A X: 050-3327-6036

東北サービスセンター
福島県郡山市桑野2-3-14
第二桑野エステートビル103号室
〒963-8025
PHONE: 024-973-8226
F A X: 024-973-8227

関連会社

Seibu Giken DST AB
Avestagatan33, SE-163 53
Spånga, SWEDEN
PHONE: 46-8-445 77 20
F A X: 46-8-445 77 39
E-mail: info@dst-sg.com
www.dst-sg.com

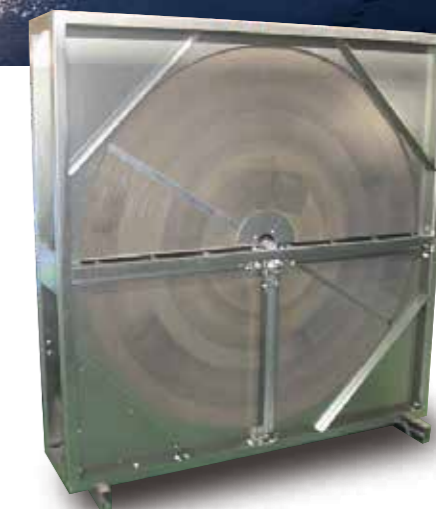
Seibu Giken America, Inc.
220 North Park Road Building 6,
2nd Floor Wyomissing, PA 19610, USA
PHONE: 1-484-709-2093
F A X: 1-484-709-2172
E-mail: information@sgamerica.com
www.sgamerica.com

西部技研環保節能設備(常熟)有限公司
江蘇省常熟市東南經濟開發區金麟路8号
PHONE: 86-512-5230-3000
F A X: 86-512-5230-3600
www.seibu-giken.net.cn

上海営業所
上海市長寧区延安西路2299号
上海世貿商城10G19
PHONE: 86-21-6236-3005
F A X: 86-21-6236-3012
E-mail: info@seibu-giken.co.jp

ハイ・パネックス・イオン GREEN-SAVE®

イオン吸着式全熱交換器
HI-PANEX-ION



イオン吸着が可能にする、さらなる

クリーン・省エネ・快適空調。

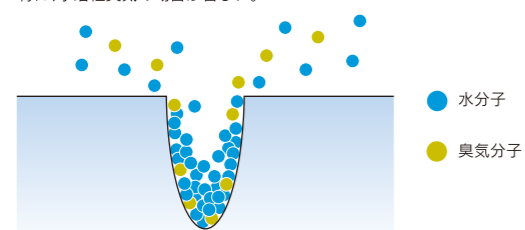
POINT
1

臭気移行防止に優れた効果

潜熱(湿分)交換用の吸着剤として、臭気を吸着しにくいイオン交換樹脂系ポリマー吸着剤を世界で初めて採用。シリカゲルなどを使用した旧タイプと比較して、臭気移行・蓄積が極めて少なくなりました。(PAT)

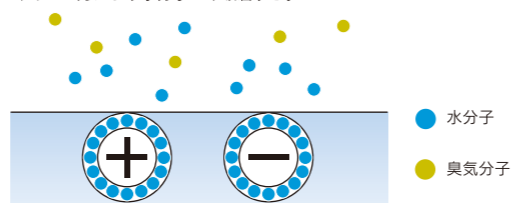
シリカゲルによる吸着

毛細管力による吸着のため、水蒸気と共に臭気も吸着する。特に、水溶性臭気の場合が著しい。



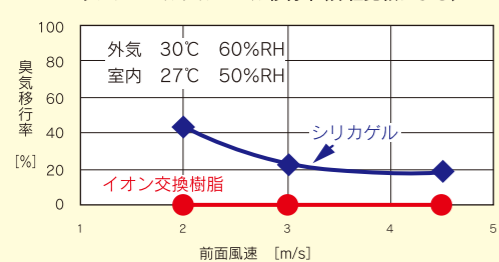
イオンによる吸着

イオンの力により水分子のみ吸着する。

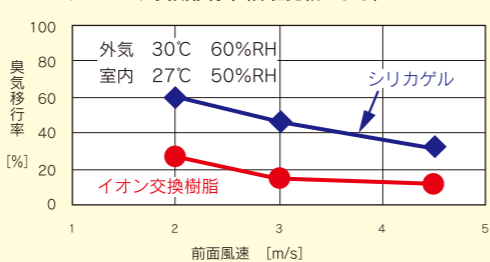


臭気移行比較グラフ

イソプロピルアルコール移行率(弊社比較による)



アンモニア臭気移行率(弊社比較による)



注) 油煙、オイルミスト、たばこ煙などは粘着性粒子の為、ロータ表面に付着して異臭の原因となりますので別途専用フィルタの設置を要します。

POINT
2

優れた省エネ効果とCO₂削減

ローター回転対向流方式なので高効率です。

炭酸ガス排出量削減効果
14トン-C/年/台

「トン-C/年/台は、CO₂の排出量を炭素換算で表す単位。冷暖房空調を全て電力でまかなうとして計算したもの。計算条件:東京電力 '98年度 81g-C/kWh。PAC-2900T O A41,000m³/h 東京地方。」

POINT
3

抗菌・防かび効果

ハイ・パネックスは、ポリマー吸着剤と抗菌・防かび剤を併用することにより、徹底したIAQ(空気質)向上を図りました。

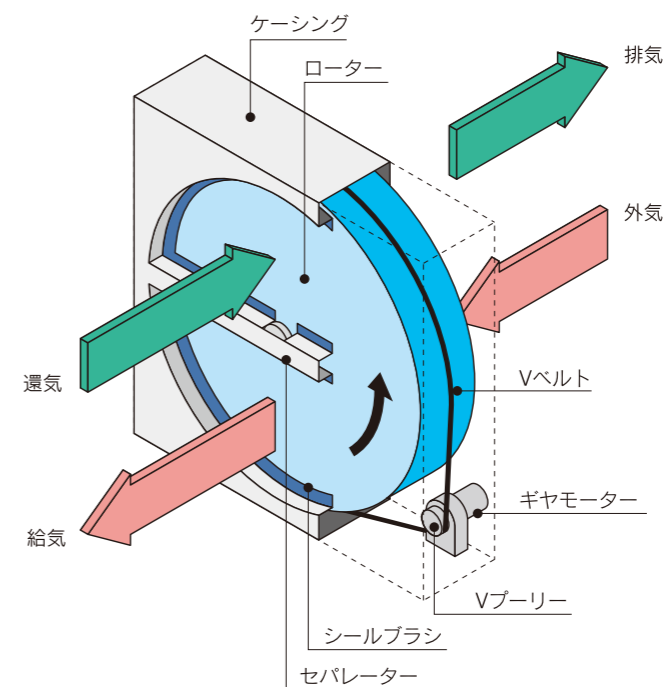
ハイ・パネックス・イオン® のはたらき

下図は全熱交換器カセット、ハイ・パネックス・イオン®の略図です。

ハニカムローターは、16r.p.m.程度の速度で矢印の方向に回転しています。

室内からの還気は、カセットの上半分からローターを通過して屋外へ排気されます。このときに、還気が持っている全熱(熱と湿気)の大部分をローターが蓄え、汚れた空気のみが排気されます。一方カセットの下半分から取り入れた外気がローターを通過するとき、ローターが蓄えた全熱を外気が受け取り、冬であれば予熱、加湿、夏であれば予冷、除湿されて室内に連続的に給気されます。

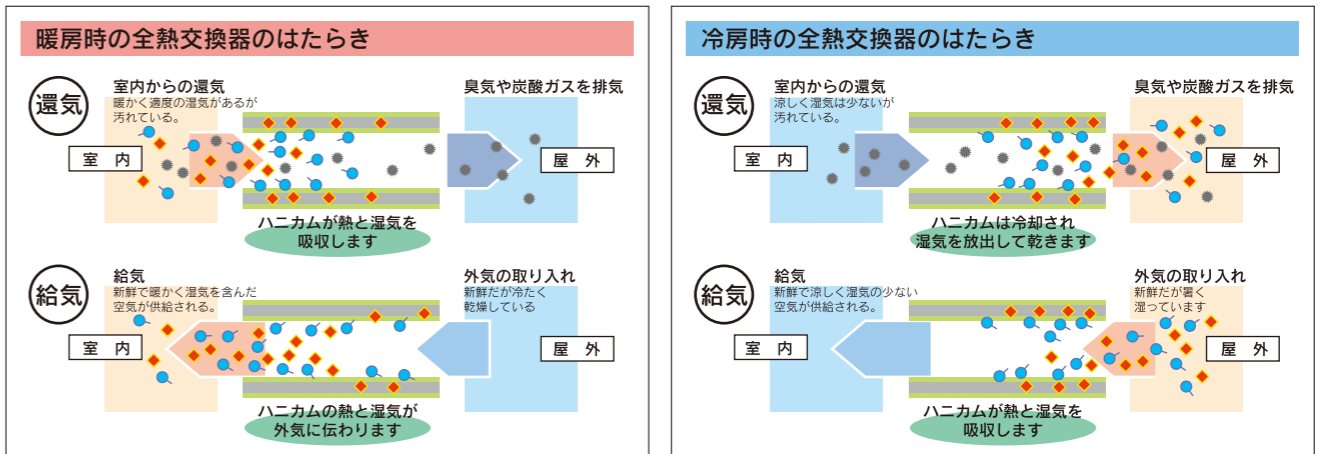
つまり全熱交換器は換気によって失われるエネルギーをリサイクルする省エネルギー装置です。



全熱(熱と湿気)交換の原理

図のように還気と給気が交互に流れ熱と湿気を蓄えたり、放出することによって熱交換(排熱回収)します。ライナーシートは伝熱と透湿により熱交換する直交流型と比較してローター回転型は、ライナー・コルゲートシートの両方で熱交換するため、交換面積は約2.5倍になりより高い熱交換性能を発揮します。

◆ = 熱 ● = 湿気 ● = 臭気・炭酸ガス



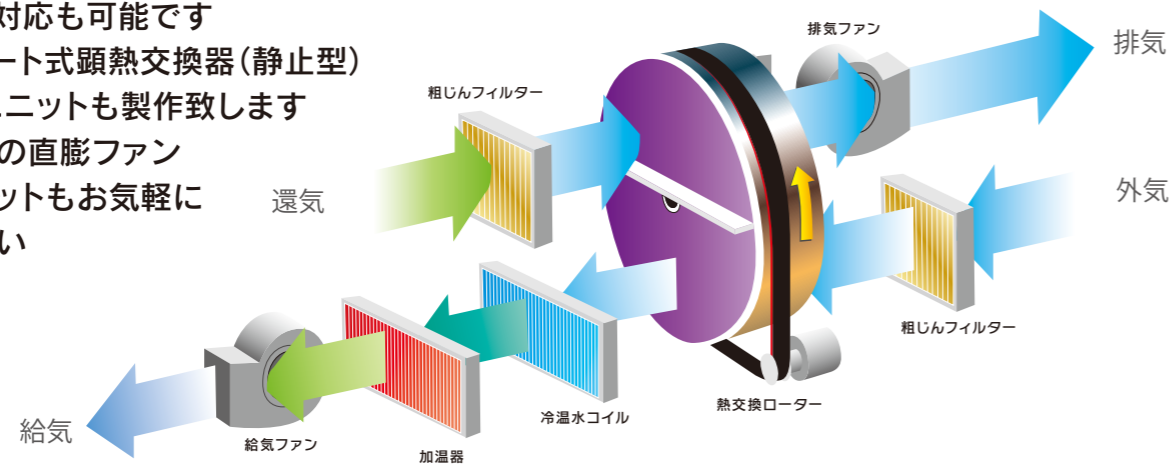
設計仕様ユニット

ご希望に応じてユニット製作～設置作業まで承ります。
心臓部の熱交換ローターから一貫して製作対応致します。



全(顕)熱交換器ユニットフロー

- 加湿器、冷温水コイルや中性能フィルター等のオプション対応も可能です
- アルミプレート式顕熱交換器(静止型) PWTエコユニットも製作致します
- 冷凍機付きの直膨ファンコイルユニットもお気軽にご相談下さい



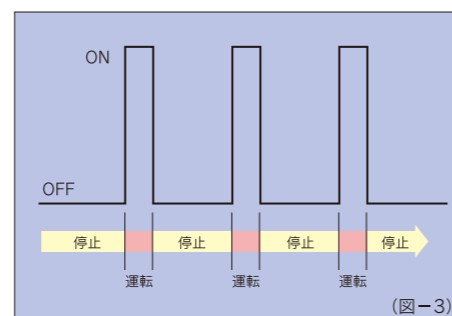
中間期制御について (自動換気切替機能)

一般の空調システムでは、中間期に室内温度より低い外気を取り入れ、外気冷房効果により室内発生熱を処理します。全熱交換器が採用されている場合には、取り入れ外気温度が回収熱により上昇し、外気冷房効果が低下します。そこで、全熱交換器の交換効率を制御し、回収熱を少なくすることが必要となります。一般的に交換効率を制御するには、図-3のON-OFF制御型と全熱交換器そのものをバイパスする方法があります。

ON-OFF制御型 (ST型)

この方法はハイ・パネックスローターの運転と停止を交互に行なうことにより、室温より低い外気を供給することができます。また、間欠的にローターを回転させるので、エレメントの目詰まりを防ぐことができます。

- 標準設定
- 運転時間設定タイマー 5分
 - 停止時間設定タイマー 60分



ハイ・パネックス・イオン® 導入例

ハイ・パネックスは私たちの身近なところで使用されております。

- ・一般事務所ビル
- ・研究施設
- ・学校
- ・劇場
- ・病院
- ・ホテル など



ハイ・パネックス・イオン® の使用による省エネ試算

ハイ・パネックスをご使用いただくことはエネルギーだけでなく、CO2排出量の削減にもつながります。

年間外気負荷

	外気負荷 (MJ/年)	外気負荷 (kWh/年)
夏期 (冷房)	758,500	210,700
冬期 (暖房)	2,091,000	580,900

※MJ=1000kJ

設計条件

- ・場所: 東京地区
- ・型式: PAC-2900T
- ・給気風量: 41000CMH
- ・排気風量: 30000CMH
- ・運転時間: 10時間/日
- ・全熱交換効率: 62%
- ・電力料金: 25円/kWh
- ・CO2排出量: 81g-c/kWh (東京電力発表データより)

ハイ・パネックスを導入した場合(全熱効率62%)

	外気負荷節減量 (kWh/年)	電気代節減 (円/年)	CO2排出量節減量 (kg-c/年)
夏期 (冷房)	130,640 ※1	3,270,000 ※2	10,600 ※3
冬期 (暖房)	360,200 ※1	2,590,000 ※2	29,200 ※3

- ※1. 外気負荷×0.62(全熱効率)
- ※2. ※1×18円/kWh
- ※3. ※1×81g-c/kWh÷1000

		乾球温度 (°C)	相対湿度 (%)	エンタルピー (kJ/kg)
夏期	外気条件	32.6	70	88.74
	室内条件	26	50	52.95
冬期	外気条件	1	27	3.77
	室内条件	22	50	42.91

※弊社技術資料P.15(12ハイ・パネックス・イオンの経済性について(1))より抜粋

ハイ・パネックス・イオン[®]の素材

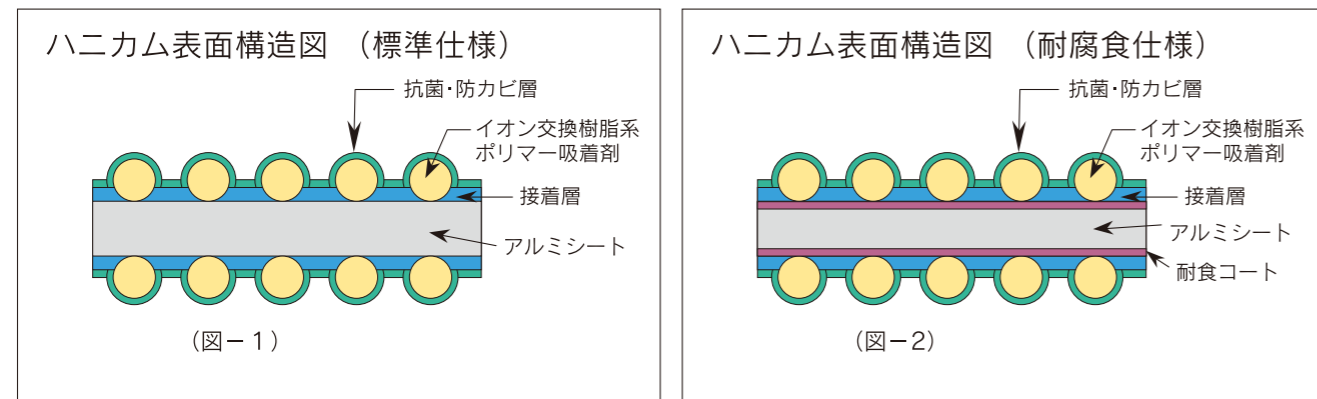
一般用途

型式	エレメント素材	交換	主用途	建物例	製品使用温度 ^(注1)
PA型	アルミシート	全熱	一般空調用	一般事務所ビル、研究施設	-20℃~60℃
		顕熱	デシカント空調用 耐腐食用	学校、劇場、病院、ホテル 各種船舶、プール、工場、動物実験室	
		全熱	耐腐食用	各種船舶、プール 工場、動物実験室	-20℃~60℃

(注1) 限界に近い状態でのご使用の場合にはご指示願います。
標準品と一部仕様が異なる場合もあります。
※仕様は改善のため予告なく変更することがあります。

■アルミ全熱交換器

ハニカム表面の構造は図-1のようになっています。抗菌・防かび剤の層が表面の全面を覆っていますので、どの部分でも抗菌・防かび性を発揮します。また、耐腐食性を必要とする場合は、図-2のように耐食コートをしたアルミシートを使用します。



※当社では、原材料及び製造工程中で有害物質等は使用していませんが、製品開梱時に、製品特有の甘酸っぱいような臭いが感知されることがあります。これは「初期素材臭」であり、通風により解消されます。試運転の際には御留意下さい。

装置の呼称と型式

PA C-1500 T

① ② ③ ④

- ① エレメント素材 PA:アルミシート
- ② 製品形状 C:カセット U:ユニット
- ③ ローター寸法
- ④ 製品用途 T:全熱交換 S:顕熱交換

標準型カセット NEシリーズ

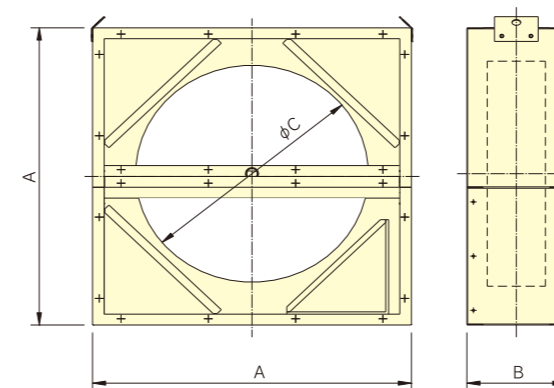
環境に配慮した製品構造”塗装レス・溶接レス”
構造の見直しによりリードタイムを短縮(当社従来品比)



- ・ケーシングのスリム化を実現
- ・据付方向、横・縦型兼用化の実現
- ・平成21年11月公共建築協会評価書取得

※ PAC-2150T-NEは令和4年3月現在、公共建築協会評価書取得申請中です。

型式	処理風量 (m ³ /h) 素子前面風速 (2~4m/sec)	ギヤモーター 3φ/200V 50Hz/60Hz	寸法 (mm)			質量 (kg)
			A	B	C(ローター直径)	
1 PAC-500T-NE	540~1,080	0.1kW	800	340	520	85
2 PAC-600T-NE	790~1,580		900		630	100
3 PAC-700T-NE	1,150~2,300		1000		730	110
4 PAC-800T-NE	1,700~3,400		1100		830	120
5 PAC-950T-NE	2,150~4,300		1200		980	135
6 PAC-1050T-NE	2,540~5,080		1200		1050	140
7 PAC-1100T-NE	3,040~6,080		1300		1150	145
8 PAC-1200T-NE	3,500~7,000	0.2kW	1400		1250	155
9 PAC-1300T-NE	4,200~8,400		1500		1350	175
10 PAC-1500T-NE	5,600~11,200		1700		1550	210
11 PAC-1700T-NE	7,250~14,500		1900		1750	300
12 PAC-1900T-NE	9,000~18,000		2100		1950	340
13 PAC-2150T-NE	11,700~23,400	0.4kW	2350		2200	390



※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

大型・特殊仕様カセット

ご要望に応じたカスタム設計や大型品も対応可能です。

- ・最大ローター直径4200まで製作可能。
- ・分割型やフィルター付き、高風速型、耐塩仕様などのオプション対応。

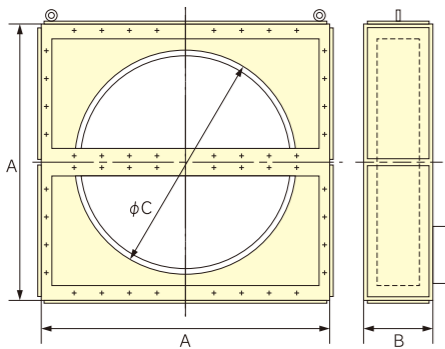


特殊仕様



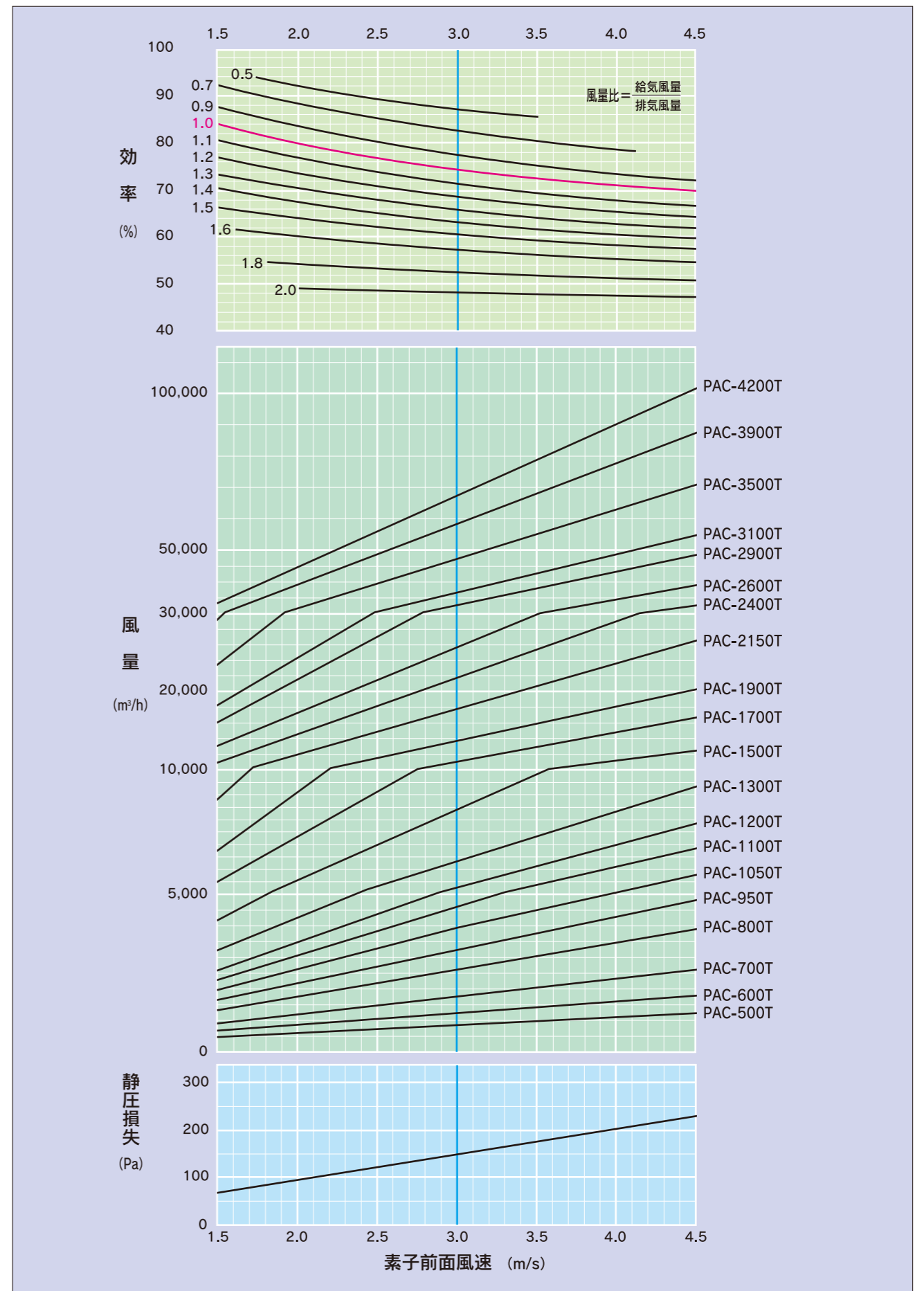
大型

型式	処理風量 (m³/h) 素子前面風速 (2~4m/sec)	ギヤモーター 3φ/200V 50Hz/60Hz	寸法 (mm)			質量 (kg)
			A	B	C(ローター直径)	
1 PAC-500T	540~1,080	0.1kW	800	340	520	85
2 PAC-600T	790~1,580		900		630	90
3 PAC-700T	1,150~2,300		1000		730	95
4 PAC-800T	1,700~3,400		1100		830	110
5 PAC-950T	2,150~4,300		1200		980	125
6 PAC-1050T	2,540~5,080		1200		1050	135
7 PAC-1100T	3,040~6,080	0.2kW	1300	340	1150	145
8 PAC-1200T	3,500~7,000		1400		1250	160
9 PAC-1300T	4,200~8,400		1500		1350	180
10 PAC-1500T	5,600~11,200		1700		1550	220
11 PAC-1700T	7,250~14,500		1900		1750	270
12 PAC-1900T	9,000~18,000		2100		1950	310
13 PAC-2150T	11,700~23,400	0.4kW	2350	450	2200	360
14 PAC-2400T	14,400~28,800		2700		2400	680
15 PAC-2600T	17,100~34,200		2900		2600	740
16 PAC-2900T	21,400~42,800		3200		2900	870
17 PAC-3100T	24,200~48,400	0.75kW	3400	500	3100	1000
18 PAC-3500T	31,000~62,000		3800		3500	1250
19 PAC-3900T	38,500~77,000		4200		3900	1450
20 PAC-4200T	44,500~89,000		4500		4200	1610



- 注1) カセットの標準接続はPAC-500T~2150Tがタップ接続でPAC-2400T以上がフランジ接続となります。
- 注2) 左記のカセット図はフランジ接続形を表します。
- 注3) カセットの使用温度が許容範囲を超える場合にはローターの素材や外形寸法が変わりますのでお問い合わせ願います。
- 注4) 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

機種選定表 (アルミ・PAC)

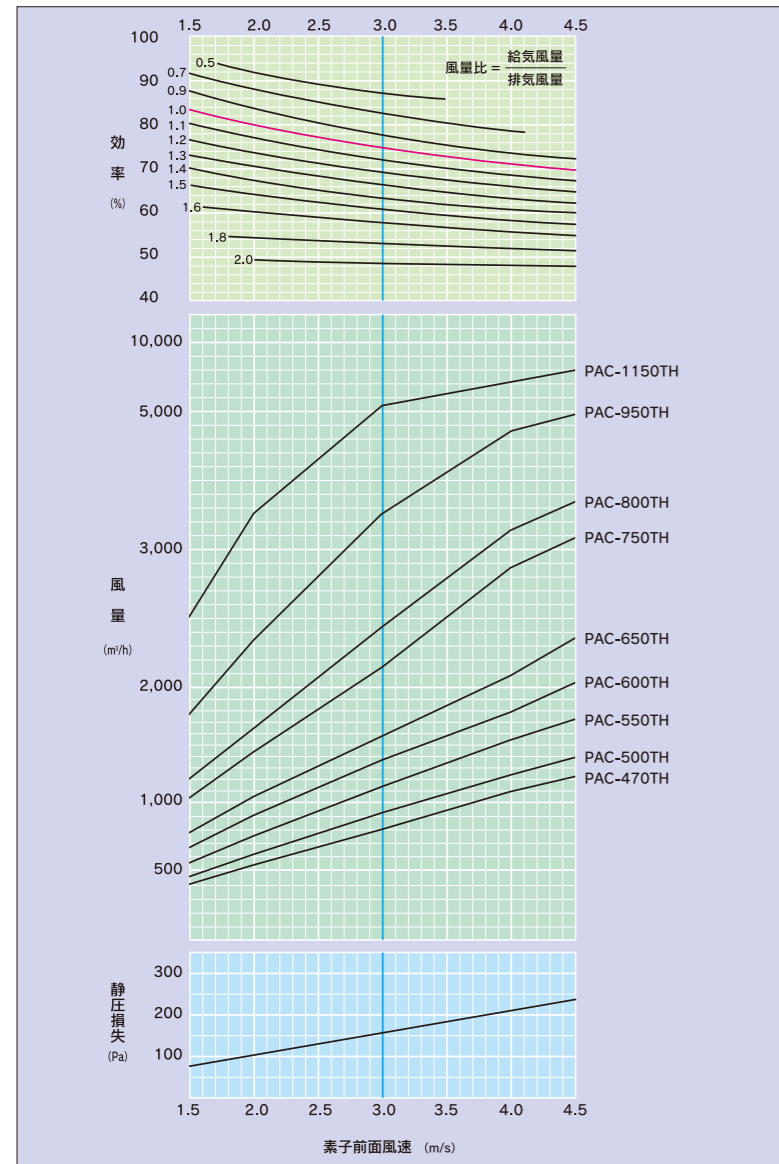


※JISB8628規格仕様書表示値の90%以上 ※AHRT Certified

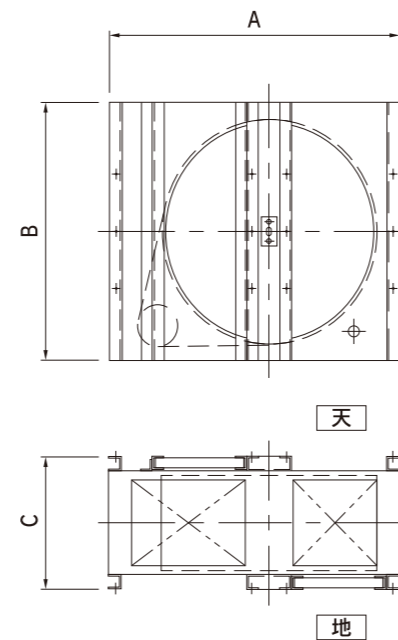
水平設置型カセット Hシリーズ

豊富なラインナップで、お客様が求める細やかな仕様に対応致します。(国交省仕様)

機種選定表



※JISB8628規格仕様書表示値の90%以上



型式	処理風量 (m³/h) 素子前面風速 (2~4m/sec)	ギヤモーター 3φ/200V 50Hz/60Hz	寸法(mm)				質量 (kg)
			A	B	C	ローター 直径	
1 PAC-470TH1	530~1,070	0.04kW	635	540	278	470	45
2 PAC-500TH1	610~1,230		625	640	278	500	47
3 PAC-550TH1	750~1,510		675	660	278	550	52
4 PAC-600TH1	890~1,790		720	700	278	600	57
5 PAC-650TH1	1,045~2,090		750	700	278	650	60
6 PAC-750TH1	1,430~2,860		850	810	278	750	67
7 PAC-800TH1	1,630~3,250		900	900	278	800	73
8 PAC-950TH3	2,350~4,690		1,050	1,030	278	950	92
9 PAC-1150TH3	3,490~6,980		1,250	1,200	319	1,150	115
10 PAC-1200T-IH	3,500~7,000	0.2kW	1400	1400	420	1,250	180
11 PAC-1300T-IH	4,200~8,400		1500	1500	420	1,350	210
12 PAC-1500T-IH	5,600~11,200		1700	1700	420	1,550	250
13 PAC-1700T-IH	7,250~14,500		1900	1900	420	1,750	310

※製品の改良などにより予告なく仕様を変更することがございます。

※水平型PAC-1200T-IH~1700T-IH 特殊仕様のため詳細につきましてはお問い合わせ願います。

機種選定表の見方

■等風量の場合

給気・排気の風量が等しい場合は、風量の横軸と各機種の処理風量線図との交点により機種を選定します。この場合、特に指定(例えば効率、前面風速等)がなければ、前面風速がなるべく2.0~4.0m/sの範囲におさまるような機種を選定してください。機種が決まりましたら、その交点を上方に延長し、風量比=1の効率線図との交点から効率Aを読み、下方に延長し静圧損失B、下側にその時の前面風速Cを読み取ります。

■不等風量の場合

①給気・排気の風量が等しくない場合は、給気と排気それぞれの前面風速がなるべく2.0~4.0m/sの範囲におさまるような機種を選定してください。

②この場合、給排気の風量比を求めてください。

$$\text{風量比} = \frac{\text{給気風量}}{\text{排気風量}}$$

③機種が決まりましたら給気側の風量と選定した機種の処理風量線図との交点を上方に延長し、この風量比との交点より給気側の効率Dを読みます。

④給気、排気それぞれの風量と選定した機種の処理風量線図との交点を下方に延長し、静圧損失E、Bを読み、下方に給気側、排気側それぞれの前面風速F、Cを読み取ります。

⑤排気側の効率が知りたい場合は風量比を逆に計算し(排気風量/給気風量)、排気側の風量と選定した機種の処理風量線図との交点を上方に延長し、逆に計算した風量比との交点より効率Gを読みます。

$$\text{風量比} = \frac{41,000}{30,000} = 1.37$$

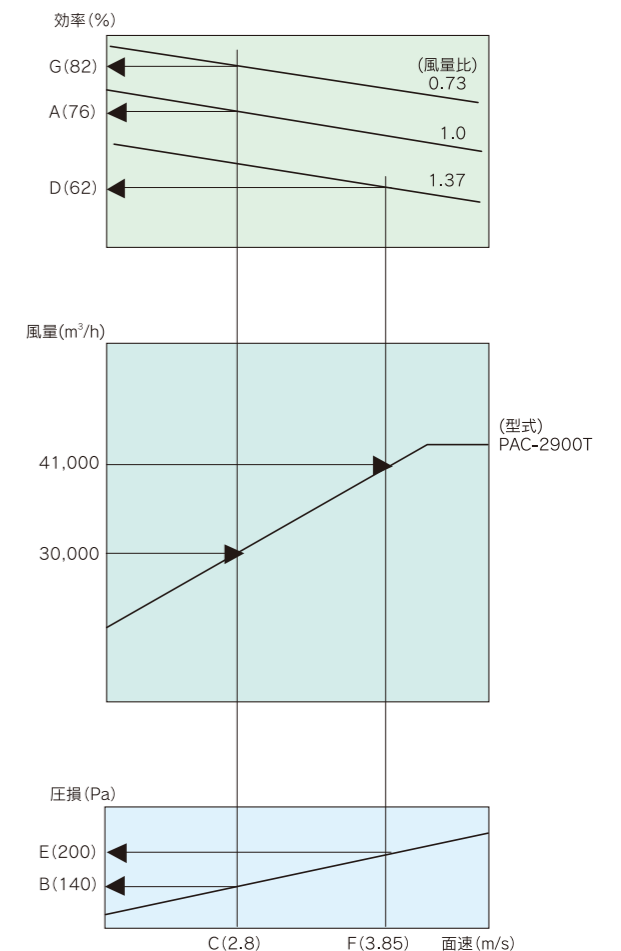
■排気側の効率を求める場合の風量比

$$\text{風量比} = \frac{30,000}{41,000} = 0.73$$

※風量比：2以上の場合は要相談願います。

	給気側	排気側
風量	30,000m³/h	30,000m³/h
機種	PAC-2900T	
効率	76%	76%
静圧損失	140Pa	140Pa
前面風速	2.8m/s	2.8m/s

	給気側	排気側
風量	41,000m³/h	30,000m³/h
機種	PAC-2900T	
効率	62%	82%
静圧損失	200Pa	140Pa
前面風速	3.85m/s	2.8m/s

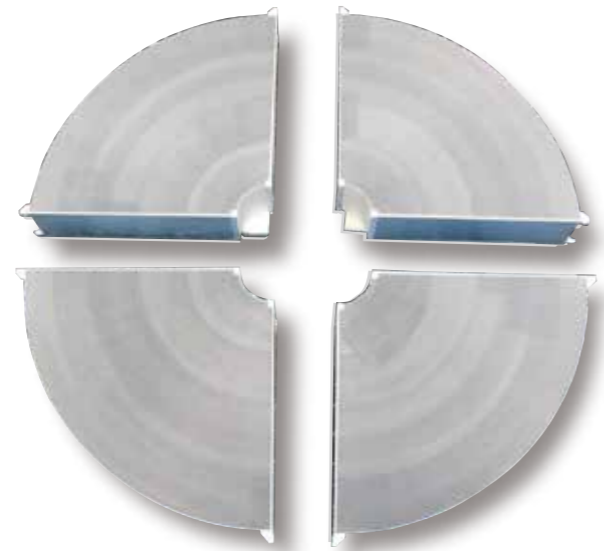


リプレース用サービスマター

ローター交換工事も承っております。ローターは自社製作ですので、短納期にてご対応致します。

他社製のローター交換も対応可能です。

当社では空調設備の改修に伴う全熱交換器の新規導入や更新(リプレース)を提案し、この分野でも多くの実績があります。改修工事の場合、搬入経路や機器周辺の作業スペースに制限があります。そのためリプレース用ローターは作業性を考慮した現場組立型として、事前調査により、2~16分割品として提供いたします。空調設備の改修計画の際には、是非ご検討・お問い合わせ下さい。



- 公共建築協会認定済み
- ASTM84にて不燃性証明

アルミプレート式顕熱交換器

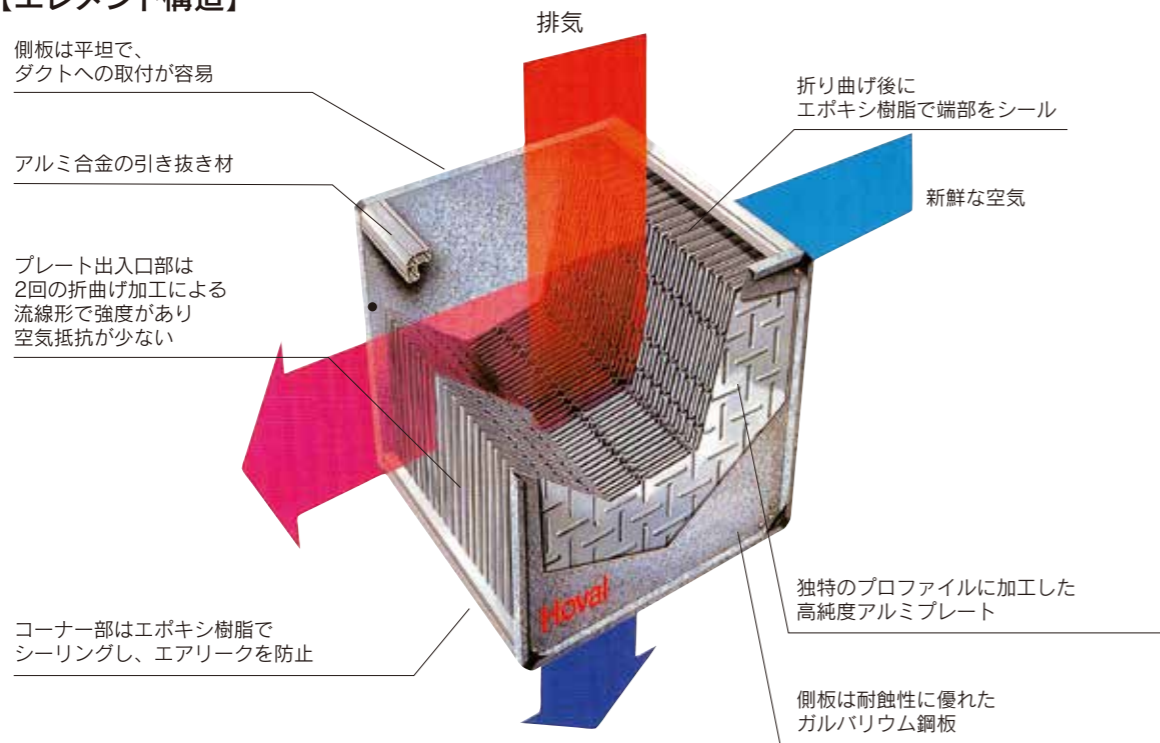
排熱回収による省エネに最適!

VOCや臭気・粉塵等を含む(200℃以下の低温排熱)の有効利用にはPWT®ECOユニットを!

【特徴】

1. 顕熱回収効率は50~70%以上
2. 交差汚染(エアリーク)が極めて少ない
3. 豊富な品揃え ダクト接続型・ファン組込ユニット型 など
4. 目詰まりも起こりにくいので、ほとんどメンテナンスフリー
5. 20年以上の採用実績

【エレメント構造】



エネセーブ・イオン®

エネセーブ・イオン導入前と導入後のシステム比較

導入前 有機溶剤を取り扱う工場の一般的な空調方式(外調式)では、図1に示すように

- ①オールフレッシュ(全外気)方式
- ②Push-Pull方式※1が採用されています。

※1 Push:空調機ファンにより、外気処理した空気を対象室へ押込給気する
Pull:排気ファンにより、VOCを含む対象室内空気を吸引排気する

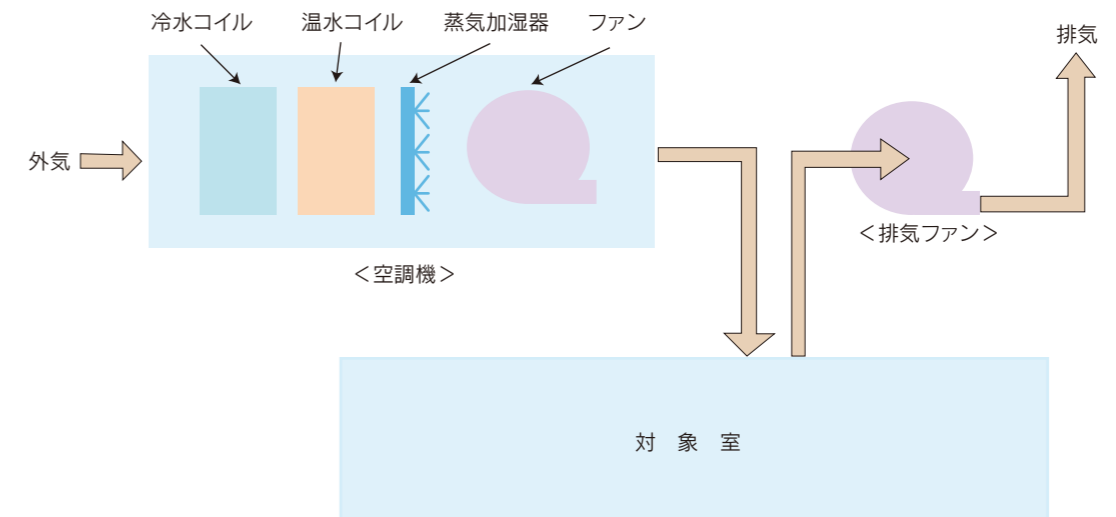


図1 エネセーブ・イオン導入前のシステム

導入後 図2に示すように、空調機の前段にエネセーブ・イオンとファンを設置します。

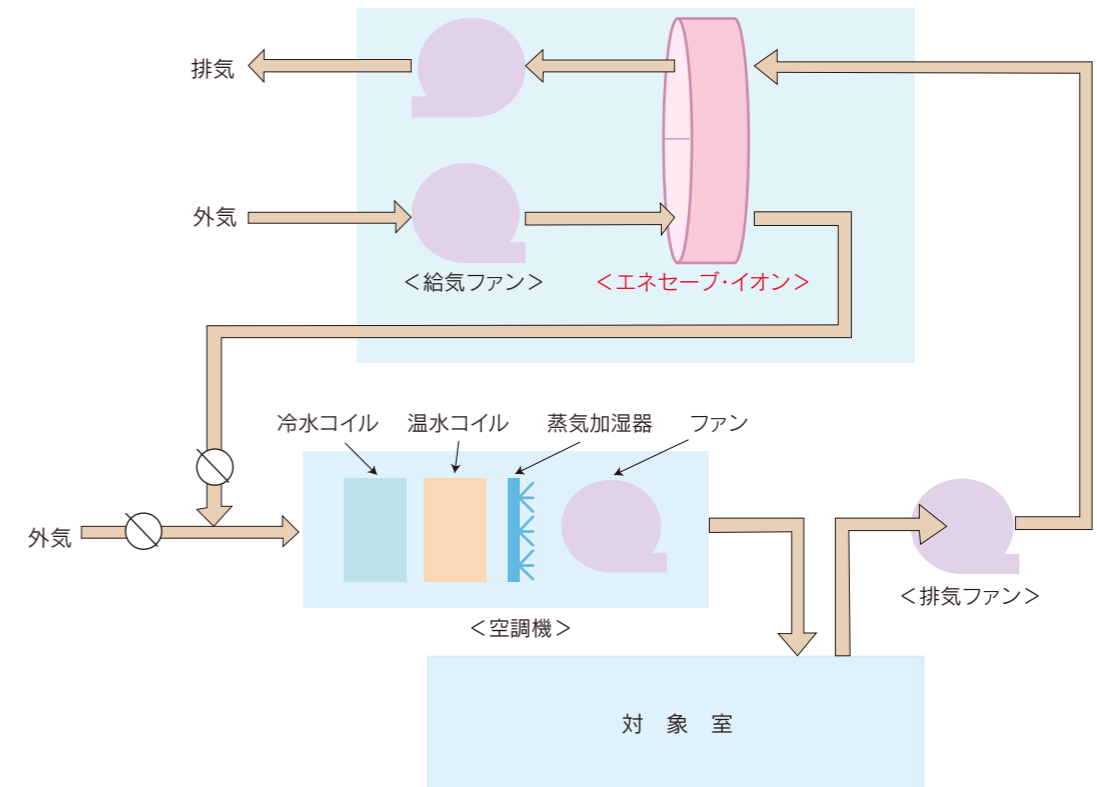


図2 エネセーブ・イオン導入後のシステム

設計・据付上の留意点について

ハイ・パネックスを使用する場合には下記の点について考慮願います。

①フィルターについて

ローターエレメント内を給・排気が対向に流れ、ローターが約16r.p.m.で回転することによってエレメント内の空気の流れる方向が半回転しますので、通常の空調雰囲気であればエレメント内部に塵埃が堆積することはほとんどありません。つまりハイ・パネックスには自浄作用があるわけです。しかし、できる限り長くご使用いただくために、空気中に含まれる塵埃の濃度に合わせたフィルターをご使用ください。

■外気用フィルター

ローターの目づまりをおこす原因となりますので、不織布程度のフィルターを取付けてください。

■還気用フィルター

還気空気の中には髪や衣類から出る繊維状の塵埃が含まれていることがありますので不織布程度のフィルターを取付けてください。

(注)油ミスト、インクミスト、塗装ブースの排気ガス等を含む排気をハイ・パネックスに通風する場合は必ずフィルターを取付、油ミスト等を取り除いてください。ローターにこれらの物質が付着すると目づまりの原因となります。

■給気用フィルター

必要に応じて中性能フィルターや高性能フィルターなどの設置を行ってください。

②特殊な排気ガスについて

一般空調以外の特殊空調において、処理空気中に特殊なガス及び溶剤等が含まれている場合には、ガス等の種類及び濃度によってはエレメントに有害となることがありますので、その都度ご相談ください。

③ローターの運転と送風機運転の関係について

ハイ・パネックスは、ローターを停止したまま送風すると目づまりの原因となりますので、ローターと給・排気ファンは必ずインターロックを取って、連動運転としてください。

④外気取入れガラリについて

ローターエレメントに直接水滴(雨水等)が当たるとローターの性能低下及び故障の原因となることがありますので、ガラリの設計には充分注意してください。ガラリより万一滴がダクトに入ってもハイ・パネックスまで伝わっていかないように水切り等を設けてください。

⑤チャンバーとダクトの断熱について

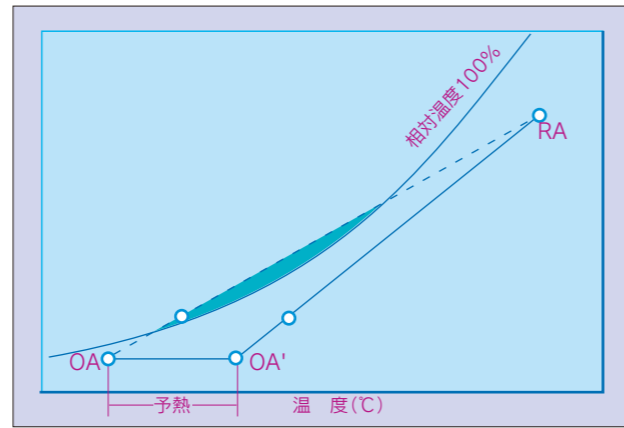
ハイ・パネックスの設置場所が、外気温度と等しい場合には室内側の給排気ダクトは熱損失を防ぐための断熱が必要になります。

⑥点検口について

接続ダクトチャンバーにはローター点検のための点検口を4カ所(外気、給気、還気、排気)設けてください。

⑦寒冷地における運転について

寒冷地の冬期では、取入外気が0℃以下となり、還気(室内の温湿度)との全熱交換で図-5のように空気線図の飽和曲線を横切り、その結果エレメント内に結露や凍結を生じる場合があります。それにより、交換効率の低下や目づまりの現象が起り、最悪の場合はローターエレメントの一部破損も考えられます。このような場合にはOA(外気)をOA'まで予熱して飽和曲線を横切らない様にしてください。



(図-5)

⑧臭気に関する注意事項

ローターには吸湿剤としてイオン交換樹脂を使用しているため、臭気を非常に吸着しにくくローター自体が臭気を蓄積・放出することはありませんが、下記項目に注意して設置をしてください。

■外気に臭気が含まれるとその臭気は室内に持ち込まれますので、周辺の空気環境に注意して外気取入れ口を設置してください。

■厨房臭気(油煙)やタバコ煙などの微粒子がローターやチャンバーなどに付着すると、その臭気が室内に持ち込まれる可能性があります。厨房や喫煙室などの還気はハイ・パネックスを通さず局所排気してください。局所排気ができない場合は油煙・タバコ煙は静電気集塵機や高性能フィルターを使用し除去してください。

■厨房等の局所排気口は外気取入れ口へのショートサーキット等を考慮し設置してください。

⑨特殊な据付について

■屋外据付

ハイ・パネックスを屋外設置用としてご使用になる場合は特殊仕様となりますのでご相談ください。また、据付に際しましては、次の点に注意してください。

- ・ハイ・パネックスの上に水がたまらないように屋根等を設けてください。
- ・相フランジから水が入らないようにコーキングを行ってください。
- ・接続ダクトのシールを完全にしてください。
- ・ダクト等から侵入した水がエレメントまで伝わらないようにしてください。

■水平据付

本体を水平に据付ける場合は特殊仕様となりますのでご相談ください。

警告

ローター洗浄は行わないでください。

全熱ユニット お問い合わせシート

(株)西部技研行

本社：Fax 092-944-6811
sales@seibu-giken.co.jp

東京：Fax 03-3866-3077
tokyo@seibu-giken.co.jp

ご記入の上、右記までご連絡ください。

1 参考型番	P [] - [] T	
2 設置場所	屋 内 ・ 屋 外	
3 選定条件	処理風量CMH	外気量(または給気量) [] 排気量(または還気量) []
	交換効率	[] %以上
	静圧損失	[] Pa以下
	ローター前面風速	[] m/sec以下
電源	[]φ []V []Hz	
4 仕様条件	官庁[]仕様、民間(一般)仕様 []設計事務所仕様	
5 中間期コントロール盤	■ ST型 ・ なし ■ 送風機操作回路 あり ・ なし	
6 ダクト接続方向	上下式(上 [])、左右式(モータ側 [])	
7 ユニット部品	送風機	給気用[]CMH []pa [機外]kW 排気用[]CMH []pa [機外]kW
	フィルター	外気用[]AFI(NBS) []%・プレ、中性能、塩害、ロール 還気用[]AFI(NBS) []%・プレ、中性能、塩害、ロール
	防振架台	ファン用(ゴム式 ・ スプリング式) ・ 全体用 []式、[]kg/h、水スプレー・気化式・電極式・蒸気式
	加湿器	[]φ []V []Hz
	コイル	冷水[] kJ/h・kW [] 温水[] kJ/h・kW []
	チャンバー	塗装仕様 [] 付属品 [] 搬入分割数 []
8 その他特記事項		